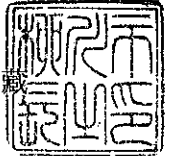




19柳建設第 154号
平成19年 5月 7日

国土交通省道路局長 宮田年耕様

柳川市長 石田宝
(建設部建設課)



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について (回答)

標記のことについて、下記のとおり、回答します。

記

1. 今後の道路政策や道路の整備・管理についての意見

別紙のとおり

◆今後の道路政策や道路の整備・管理についての意見

・重点化を進める上で特に優先度の高い政策

1. 地域活性化や物流のため都市や交通拠点を結ぶ道路の整備

本市は市内を縦横に走る掘り割りを利用した「水郷柳川川下り」や春のひな祭りの際の「さげもん祭り」等の観光及びイベント等に力を入れているが、現状では福岡空港・佐賀空港等の空港施設や九州縦貫道路・横断道路等のICからのアクセス性が悪いため、時間がかかる等、本市を訪れる観光客に不便をかけている。

また、本市は「福岡のり」等の海産物やナス・レタス等の農産物のブランド化にも力を入れているが、先に述べたように消費地への流通性の悪さが指摘されている。

そこで、このことを解消するためには各空港及びICと本市を結ぶ、高規格道路・地域高規格道路及び広域幹線道路等のネットワークの整備を推進する必要がある。

なお、この高規格道路・地域高規格道路及び広域幹線道路等のネットワークの整備については、知事が提唱している“福岡県内1時間構想”の実現のためにも、優先度の高い政策である。

2. 道路管理の充実（日常的な維持管理（清掃・舗装修繕・除雪など）・老朽化した橋の予防対策など）

本市を走る国道208号線等の幹線道路については、舗装の老朽化が目立ち、路面の凸凹から発生する振動により、夜の安眠が阻害されているようなことも報告されている。

また、老朽化した橋は、地震の際や通行に際して安心が出来ない等の意見が多いことから、早急な対策が必要である。

3. 交通事故対策（通学路を主とした歩道の設置など）

本市を走る国道208号線等の幹線道路については、歩道の整備が遅れているため、学童等が安心して通学が出来ない状況にある。そのことから、早急に歩道の整備が必要である。

・効率化を徹底的に進める上で特に重視すべきこと

1. 個別の事業のスピードアップを図るなどスケジュール管理を徹底する。

道路は計画から供用の開始までの期間を短縮することで、費用の縮減と効果の拡大を図ることが出来ると思う。そのことから、事業のスピードアップを図るなどスケジュール管理を徹底する必要がある。

2. 現在ある道路をもっと有効に利用する。（高速道路料金の引き下げ、インターチェンジの増設、路上工事の縮減など）

高速道路等の通行料を引き下げることにより、人・物等の流通が促進され、地域経済に道路が果たす役割が増大すると思う。また、インターチェンジの増設についても、

アクセス性の悪い地域が減少することによって、地域間格差が是正されると思っている。この2つのことは、道路整備の効果を拡大させ、引いては、効率化が図られることにつながる。

3. 沿道の住民やNPO（特定非営利活動法人）などが道路の管理にもっと参画できる取り組みを行う。

沿道の住民やNPOが道路の管理に携わることによって、道路に対する愛着の気持ちが芽生えることが期待できる。また、維持・管理費を抑制することが出来、道路の維持・管理費の効率化を図ることが出来る。

・その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関すること

1. 幹線道路整備のための財源の確保

幹線道路の整備のための財源を市町村で確保することは、現在の地方自治体の財政状況では非常に難しく、どうしても、国（補助金等を含む。）に頼らざるを得ない状況下にある。この状況を理解のうえ、是非とも道路整備のための財源確保に努めていただきたい。

2. 道路の維持・管理のための財源の確保

昨今の住民の要望については多種多様に渡っている。道路の維持・管理に係る要望についても箇所数も多く、即応性も求められている。そのことから、道路の舗装修繕や清掃・除草等、道路の維持・管理のための財源確保に努めていただきたい。

3. 道路計画の効率性の確保

道路の計画初期段階から当該地域の自治体等と協議し、効率的な道路計画の確立に努めていただきたい。